

山口県感染症発生週報

(第43週:平成23年10月24日～10月30日)

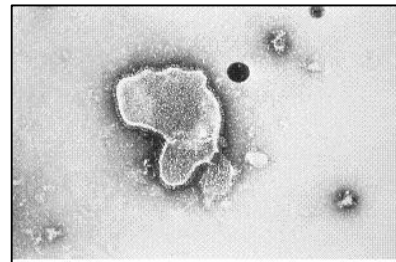
1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第22週追加:1例(山口)。第43週:2例(岩国、防府)。

【3類感染症】

◆腸管出血性大腸菌感染症: 第43週:1例(下関 O146:VT2)。



RSウイルス
CDC/ E. L. Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 患者発生報告が、岩国、柳井からありました。迅速検査では、A型陽性24例、B型陽性9例、臨床診断1例でした。

◆RSウイルス感染症: 依然として過去4年間の同時期と比較して多い状況で推移しています。全国的にも例年と比較して多い状況ですので注意が必要です。

◆感染性胃腸炎: 増加傾向が見られます。特に周南で報告が多く、警報レベルが続いています。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので今後の動向に注意が必要です。

【警報レベル=周南】※

◆手足口病: 今期は大流行しましたが、県全体としては第41週に警報レベルの終息基準値を下回りました。警報レベル継続地域は長門のみです。

【警報レベル=長門】※

◆伝染性紅斑: 長門は過去4年間の同時期と比較して4年ぶりに多い状況が続いています。

【警報レベル=長門】※

◆マイコプラズマ肺炎: 報告数がやや多い状況です。全国的にも例年と比較してかなり多い状況で、マクロライド耐性菌の報告がありますので注意が必要です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	41週	42週	43週	疾患名	41週	42週	43週
インフルエンザ	14	49	34	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	49	37	43	ヘルパンギーナ	10	29	16
咽頭結膜熱	6	7	10	流行性耳下腺炎	30	44	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	70	69	79	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	292	354	400	流行性角結膜炎	3	4	3
水痘	12	45	21	クラミジア肺炎	0	1	0
手足口病	65	50	50	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	19	15	21	マイコプラズマ肺炎	12	16	10
突発性発しん	35	33	38	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	23	11	0	0	0	0	0	0	34
RSウイルス感染症	8	2	8	6	0	2	10	7	0	43
咽頭結膜熱	0	0	0	0	2	3	0	1	4	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	2	1	16	0	26	4	4	13	79
感染性胃腸炎	48	38	8	179	16	42	53	10	6	400
水痘	4	2	1	6	3	2	1	0	2	21
手足口病	2	9	6	12	4	5	2	8	2	50
伝染性紅斑	0	2	6	3	0	3	0	7	0	21
突発性発しん	12	0	2	5	3	11	0	4	1	38
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	2	0	0	6	4	0	4	0	0	16
流行性耳下腺炎	9	1	0	3	0	0	0	0	0	13
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	2	0	0	1	0	0	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	6	0	0	0	3	0	1	0	10
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※平成23年11月8日に追加報告がありましたので、データの一部を修正しました。

山口県感染症情報センター(山口県環境保健センター内)

電話:083-922-7630 FAX:083-922-7632

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/>